

## 【宇宙開発利用部会】

### IV 研究開発の成果の適切かつ効果的な活用

#### 1 社会的ニーズの把握と研究課題への反映

- 国民は 研究開発成果の社会への還元を求めている 成果が社会的課題解決のために有効活用されるためには 研究課題を設定する段階で 幅広い分野の研究者 産業界 金融機関等の関係機関 他省庁等との組織や分野を超えた連携体制の構築等により 縦割りの弊害をなくし 様々な観点から実社会の現状を捉え、積極的に社会的ニーズを掘り起こすことが望まれる

(具体的な取組方針とその時間軸について)

- 「文部科学省における宇宙分野の推進方策<中間とりまとめ>」において 以下を掲げている

#### II 文部科学省の取組の方向性

#### 2 宇宙を支える

##### (2) 実利用との結節点

文部科学省は 社会的ニーズに対応した宇宙開発利用の推進に向け 我が国宇宙開発利用を技術で支える中核的な実施機関として位置付けられた JAXAにおいて 文部科学省を含む各府省の政策ニーズや宇宙産業におけるニーズの積極的な掘り起こしやそれに応える技術の提供がなされるよう必要な施策を講じる

### 【補足】

宇宙開発利用部会では 文部科学省における宇宙分野の推進方策について検討を進めているところであり 9月に<中間とりまとめ>を公表した。今後 年内を目途に最終的に取りまとめに向けて検討を継続しているところである